

# アベ政治終わらせ 憲法輝かせる年に



語り合う(左から)金田峰生、大門みさし、石川康宏の各氏

いよいよ参議院選挙の年となりました。戦争法(安保法制)廃止と立憲主義の回復へ、「国民連合政府」実現が大きな課題となる年の始まりにあたり、日本共産党の大門みさし参院議員(比例予定候補)、金田峰生兵庫選挙区予定候補と、神戸女学院大学の石川康宏教授(経済学)にこのたかひの焦点、展望について語り合っていました。(文責編集部)

### 復古主義の野望へ

### 財界いいなり、アメリカ従属

大門 アベノミクスが始まって三年。小泉構造改革以来の新自由主義路線とは、アベノミクスを含めて何だったのか。石川先生ですから、マルクスだったら今どう見るのか、そういう話を聞きたいと思ってきました。

も激化し、見捨てられるように参議院選挙でボロ負けして政権から滑り落ちました。現在の第二期安倍内閣は、そこから教訓を導き、財界との関係を密接に維持。新三本の矢も経団連発です。アメリカに對しても辺野古の基地は差し出す、集団的自衛権にも踏み込む、戦争法もやると媚を売るような政策をとり、その代わり復古主義には目をつぶってほしいという感じになっています。

### 安倍政権の性格

石川 一九九〇年代に一方で復古主義が、もう一方で新自由主義が強まります。その頂点が小泉政権で、第一期の安倍政権はそれをまっすぐ引き継ぎました。

しかし第一期安倍政権は、復古主義のカラーをあまりにも強く出すぎた、中国はじめアジアに展開している財界との関係が悪化、「慰安婦」問題などでアメリカとの摩擦

その結果、財界いいなりも、アメリカ従属も、復古主義も、全て暴走するようになっていきます。大門 祖父の岸信介がやれなかったことをやること、安倍首相が政治家を目指し、総理大臣を

野望のために政治も経済も全部利用するんだという、いわば究極の「ジコチュー」(自己中心)だと思っただけです。大門 そうですね。人の言うことを聞かないんで

す。金田 そんな人に政治を任せるとはいけません。安倍政権は倒すしかありません。

### 財界の要質と社会的規制の喪失

金田 財界も昔は「国家百年の計」などといって長期的な視点をもっていらしたと思うのですが……

石川 第一期の時期には、中国・アジアやアメリカとの関係を大事にせねばならないと日本経団連の奥田碩さんと経済同友会的小林陽太郎さんが政府に意見していました。そういう大局をみる人がいなくなっているのは怖いことです。

経団連中核が多国籍企業になり、投機マネーの影響を強く受けるようになって、国内の消費力を軽視するようになってきました。大企業の国際競争力がつけば「トリクルダウン」でなんとかなると国民をごまかしています。

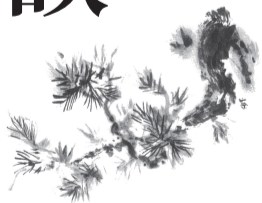
金田 かつて、ソニーの盛田昭夫さんが、労働法制の一連の改善が続いたとき、個々の企業が競争に勝つためにやっていたリストラが産業界全体をつぶしてしまおうと発

言っていました。今はそういう声もほとんど聞かれません。石川 そこは、マルクスが言ったように社会の力で制御するしかない。資本の側は、儲けの自由に自らがはめることはできません。

日本にも七〇年代までは公害対策など大企業を規制し、労働者や自営業を守る制度がありました。九〇年代には大店法もなくなくなり、非正規雇用を拡大させるなど、まともなルールがなくなってしまいました。

## 新春

## 鼎談



### 観感楽学

戦後七十年、新憲法下毎年絶えることなく国民的記念日を築いてきた。二月二十日多喜二忌、三月一日ヒキニデ忌、三月十日東京大空襲記念日、五月三日憲法記念日、六月二十三日沖縄県慰霊の日、八月広島長崎被爆慰霊と世界大会、八月十五日戦没者慰霊の日、十月二十一日学徒出陣追憶の日、十二月八日不再戦の日、戦後七十年、帝国憲法下の戦争式典の復活は許さなかつた。元日四方拜、毎月八日大詔奉戴日、二月十一日紀元節、三月十日陸軍記念日、四月二十九日天皇節、五月二十七日海軍記念日、十一月三日明治節。この日々、皇居遥拝、勅語奉読が小中大で行われ、朝鮮、台湾の民族は母語を禁止された。戦後七十年、伏字なき『蟹工船』を出版し、『きけわたつみの声』を広げ、「原爆許すまじ」「沖繩を返せ」を国民歌とし、『ひめゆりの塔』『二十四の瞳』を映像にし、ちひろ美術館、無言館の絵画を愛し、列島を覆う大空襲の記録に心血を注ぎ国民的記憶遺産を創造した。戦後七十年、新憲法下の巨大な国民的蓄積が呼び起こされるなら、戦争法廃止の国民連合政府を展望して、新たな国民的記念日と記憶遺産を築き続けるだろう。(A)

新春鼎談

(一面の続き)



石川康宏教授

### 政治の右傾化と民主主義の新しい息吹

石川 自民党中枢の極端な右翼化は二〇一〇年の新綱領制定がきっかけです。〇九年に政権を失った時、財界から「自民党再生」という要望があり、それを受けた議論の結果でした。

九六年には産経新聞で自由主義史観のキャンペーンが始まり、九七年には日本会議などがつづられます。その流れが、自民党中枢を支配するまでになりました。財界いなり、アメリカいいなりとともに、「侵略戦争肯定」という思想を重視しなければ日本の政治は理解できません。

大門 戦争法案の前まではヘイトスピーチが出てきたり、ネットの世界でも若い人たちがさまざまな右寄りの話で盛り上がり、閉塞感打破というところで安倍首相や橋下徹氏など強い力で何かやってほしいと期待が高まる

石川 うちの大学にもSEALDsの学生がいますが、彼らは二〇二五年

年十二月十二日、神戸女学院大学〇〇、私は戦争法案に反対します」と自分の名前を言ってスピーチを終えます。他の誰でもない、私自身の意見だということ。だから、みんな少しずつ違うけど、生き生きしている。そうした「個」の活躍は敷布団の側も学ばないといけない。

### 日本国憲法を全面的に生かすたか

大門 最近の社会保障行政府をみると、憲法三五条は完全に無視されている。社会保障に使うお金が足りないのではなく、使う気がないのです。

石川 九五年には社会保障制度審議会から社会保障の「公私分担」論が公然と打ち出されました。本来、一〇〇%の「公」が当然です。労働条件の改善も進められ、九〇年代後半には若者に対する「勝ち組負け組」論の攻撃が行われます。

石川 上智大の中野晃一さんは「戦後七十年間『憲法守れ』と頑張ってきた敷布団に、若者などの新しい掛布団がうまく重なった。夏は敷布団だけで寝られるが、寒い冬は掛布団がないと寝られない」といったたとえ話をしていました。SEALDs、ママの会、学者の会、弁護士など、これまでに政治的な取り組みの前面に必ずしも立たなかった人たちがどっと出てきたところには、市民社会の健全な成熟を感じさせられます。

大門 スピーチも見事ですね。石川 うちの大学にもSEALDsの学生がいますが、彼らは二〇二五年



大門みきし議員(参院選比例予定候補)

と、どこかで思っている。そういうエネルギーを感じます。

連の「新時代の『日本の経営』」が出て、終身雇用の否定、非正規雇用の拡大を打ち出した。あのころから日本社会が変わっていきました。

金田 消費税導入で応益負担の考え方を社会保障にまで持ち込んできました。所得の再分配機能を否定し、社会保障の理念を投げ捨てている。国のあり方を取り違えている。私はこの点で、消費税増税路線とのたたかいは社会保障の理念を取り戻す思想闘争でもあると思っています。

大門 戦争する国というのは、法案を通して武力行使できるようにしたら自動的に翌日からそうなるというわけではなく、戦場に行くと人を殺せる人間を作らないといけません。「教育改革」とか歴史認識、愛国心注入、こういうことをさらにやるでしょう。

石川 貧困・格差が広がると、食事も満足にとれない子どもの貧困は深刻です。政治が責任をもって対応するのは当然ですが、それを待っているゆとりはない。そこで、子どもや家族に市民の連帯によって食事を提供しようとする「子ども食堂」の運動が広がっています。

金田 阪神・淡路大震災の時も、炊き出しなど、みんなで支えあいました。地域の人たちの実践の中に私たちが深くかわりながら、いっしょになって政治を動かしていくことが、もっと求められる時代になったのだと思います。

石川 国家権力は憲法の全条項に縛られています。憲法三五条には国民



金田峰生氏(参院選兵庫選挙区予定候補)

を切り捨て、軍事費を捻出する。

### 必ず勝たなければならない 比例代表と兵庫選挙区

石川 強調したいのは、やはり立憲主義の回復を求めるといいます。

石川 貧困・格差が広がると、食事も満足にとれない子どもの貧困は深刻です。政治が責任をもって対応するのは当然ですが、それを待っているゆとりはない。そこで、子どもや家族に市民の連帯によって食事を提供しようとする「子ども食堂」の運動が広がっています。

大門 戦争する国というのは、法案を通して武力行使できるようにしたら自動的に翌日からそうなるというわけではなく、戦場に行くと人を殺せる人間を作らないといけません。「教育改革」とか歴史認識、愛国心注入、こういうことをさらにやるでしょう。

石川 国家権力は憲法の全条項に縛られています。憲法三五条には国民

とおりにやるのが当然だ。そのように政府に強く求める勇気と新たな思想を、立憲主義という言葉で与えています。九条以外の分野でこれらうまく活用する方法を探ることが急がなければならない。

金田 国民のたたかいは重要さが実感でき、立憲主義という言葉が実感をもって使えるようになってきましたね。

大門 兵庫選挙区では、勝利したいと思えます。参院選までと半年、その先頭で頑張ります。

石川 国家権力は憲法の全条項に縛られています。憲法三五条には国民

石川 国家権力は憲法の全条項に縛られています。憲法三五条には国民

い必要があります。反安倍でもなんでもありません。むしろ安倍政権の一番近くの応援団。そういうことを、はっきりと暴露していくことが重要です。

金田 兵庫選挙区は定数三になりました。増えた一議席を戦法費成派に渡すわけにはいきませぬ。今度の参議院選挙で与党を少数派に落とさなければなりません。

大門 兵庫選挙区では、勝利したいと思えます。参院選までと半年、その先頭で頑張ります。

石川 国家権力は憲法の全条項に縛られています。憲法三五条には国民

石川 国家権力は憲法の全条項に縛られています。憲法三五条には国民



(終わり)